



玉幡小学校 学校だより 第18号

チーム玉幡

平成30年12月20日(木)

校長 望月和彦

明日で2学期終了！充実した冬休みを

今年の冬は暖冬と思われましたが、12月半ばになり、急に朝夕の寒さが身にしみるようになりました。そんな寒さの中でも、玉小の子どもたちは毎日元気に生活してきました。

2学期は、秋季大運動会をはじめ芸術鑑賞教室、道徳の授業の地域公開&教育を語る会などの大きな全校行事や学年ごとの校外学習、6年生の陸上記録会など様々な学年行事やイベントがありました。

児童会でも、青空給食、ゲーム集会、なかよしタイム、あいさつビンゴなどの仲間づくりのための行事、アフリカ救援米や赤い羽根共同募金、落ち葉拾い（ゴミ0草0）などのお助け活動、月のめあてを決めて推進するチャレンジ活動などに取り組み、来年度に向けての児童会役員選挙も行われました。

9つの委員会では、日々の常時活動や各種イベントが活発に行われました。第16号で紹介した保健集会や音楽集会、図書委員や先生方による読み聞かせ、体育委員が中心になってすすめた体づくり運動、栽培委員会による花壇の植物の世話や植え替え、飼育委員会はうさぎのたまちゃん、はたちゃんの毎日の世話やふれあいデーの運営、放送委員による毎朝の連絡や玉幡ニュース、給食委員による献立発表や掲示、ボランティア委員会のリサイクルの呼びかけや掲示物の管理などです。様々な行事や取り組みの中で、一人ひとりの子どもたちの力を伸ばすことができたり、豊かな感性を育てたりすることができています。授業で身につけさせる学力と同時に、行事やその取り組みの中で育てる力や心を今後も大切にしていきたいと思えます。

12月3日から7日までは個別懇談を実施しました。（3日は4年生のみ）短い時間でしたが、学級担任からは学校でのお子さんの学習や生活の様子をお話しし、保護者の皆さまからはご家庭での様子や心配な事、また学校へのご意見やご要望も聞かせていただくことができました。学校と保護者が互いに理解し合った上で、学校教育と家庭教育を進めていくことは、子どもたちの健やかな成長のためにとても重要なことです。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。

さて、明日の終業式で80日間の2学期が終わります。児童一人ひとりには、今学期がんばったことや成長できたことはどんなことなのか、反対にうまくいかなかったことやできなかったことはどんなことなのかを振り返り、各自の冬休み、3学期に向けた目標をつくってほしいと思います。そして18日間の冬休みには、安全面や健康面にまず気を付けて、年末年始の家族や地域の行事に参加したり、休みの期間にしかできないことにチャレンジしたりして、充実した冬休みにしてほしいと思います。休み中の過ごし方や宿題、始業式の持ち物や今後の予定は、学年ごとの「学年だより」や「冬休みを迎えるにあたって」（すでに配布済み）をよくお読みください。



なかよしタイム



落ち葉拾い



体育委員がリードする長縄の取り組み



栽培委員による花壇の整備



図書委員による読み聞かせ



放送委員・給食委員による昼の放送

中学校に向けてステップアップ&玉幡中出前授業

個別懇談期間中の12月4日から7日まで4回、午後の時間を利用して「ステップアップスクール」を開きました。「ステップアップスクール」は、来年4月の中学校への入学を控えている6年生の学力の向上と小学校の学習内容の定着をはかることを目的として、個別懇談のある担任以外の教員が子どもたちの自主学習をサポートするものです。今回は基礎・基本を中心とする学習会であることを説明した上で希望者を募ったところ、毎回20人前後の6年生が参加しました。4人から6人の教員がサポートすることで、参加した6年生は、わからないところや聞きたいことをすぐに質問することができ、充実した学習会になりました。中学生に向けて、自主的な学習に取り組む習慣や苦手なところをそのままにせず解決していく姿勢を身につけることは、ますます必要になってきます。6年生には中学校での授業を意識して、小学校で身につけるべき力は、小学校のうちに身につけておけるように、残りの冬休みと3学期にがんばってほしいです。



ステップアップスクール

また、12月18日には、小中連携事業の一つとして、玉幡中学校の藤田麻里子先生と内藤夏希先生が、本校6年生のために出前授業を行ってくれました。3校時を半分に分けて、1組と2組が藤田先生の理科の授業と内藤先生の英語の授業を交互に受けさせてもらいました。中学校の先生による授業ということで、最初は緊張していた子どもたちですが、先生方の熱意ある授業に引き込まれ、後半は発言したり、活動したり、意欲的に学習していました。中学校への期待感も高まったようです。お二人の先生方、ありがとうございました。



中学校の先生による授業ということで、最初は緊張していた子どもたちですが、先生方の熱意ある授業に引き込まれ、後半は発言したり、活動したり、意欲的に学習していました。中学校への期待感も高まったようです。お二人の先生方、ありがとうございました。

校舎の廊下には

個別懇談の前後には、保護者の方々にも見ていただけるように、廊下には子どもたちの作品や学習の成果、お知らせなどが展示されていました。その中からいくつかを紹介してみます。



1年生「クリスマスリース」
金川の森のまつぼっくりやどんぐり、育てたさつまいものつるを使ってつくりました。



2年生「まどをひらいて」
窓とそこから見える景色をつくりました。カッターナイフの使い方の学習です。



3年生「トントンき打ち名人」
いくつかの木片を使って、頭でイメージしたものをつくります。金づちの使い方の学習です。



4年生 福祉学習のまとめ
2学期の福祉についての学習で、子どもたちが学習したことや考えたことを時系列でまとめてあります。



5年生「ゾートロープ」
回転するのぞき窓から、少しずつ異なる絵を見ることで、絵が動いているように見えます。



6年生 職業新聞
キャリア教育の一つとして、自分が興味のある職業について調べたことを新聞にまとめました。



保健室前の廊下

保健室の上野先生は、季節を考えて楽しい掲示物をつくってくれます。現在は、体育着の正しい着方を、本物の体育着を使って紹介してくれています。



「日本一のろうか」

「日本一のろうか」を意識してもらうために、長谷川教頭先生、杉山先生、山本先生が、廊下に季節の花を飾ってくれています。これはシクラメンです。